

平成19年3月1日

各 位

株式会社レックス・ホールディングス
代表取締役社長 西山 知義
(JASDAQ・コード 2688)
お問合せ先:経営企画部長 生澤 博
TEL 03-5544-2688

当社子会社株式の減損処理並びに平成18年12月期通期個別業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、下記の通り子会社株式の減損処理をいたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成19年2月26日に発表いたしました平成18年12月期(平成18年1月1日～平成18年12月31日)通期個別業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。なお、本件による連結業績予想への影響はありません。

記

1. 当社子会社株式の減損処理

当社は、平成18年12月期個別決算において、「子会社株式評価損」として15,681百万円を特別損失に計上いたします。これは、平成12年4月から適用されている「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成11年1月22日)に基づき、監査法人からの指摘を受けて検討した結果、当社の子会社、株式会社エーエム・ピーエム・ジャパンの株式について減損処理を行うものです。

株式会社エーエム・ピーエム・ジャパンでは、平成19年1月31日に発表いたしました「代表取締役及び役員の変動に関するお知らせ」にてご報告の通り、経営体制を一新し、コンビニエンス・ストア事業の抜本改革を新体制の下で遂行しており、併せて、内部管理体制の強化を進めております。

2. 平成18年12月期個別業績予想の修正

(1)通期(平成18年1月1日～平成18年12月31日)の業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A) 平成19年2月26日発表	2,700	△16	△560
今回修正(B)	2,700	△16	△16,240
増減額(B-A)	0	0	△15,680
増減率	—	—	—

(2) 修正理由

上述のとおり、「子会社株式評価損」として15,681百万円を特別損失に計上することにより、当期純損失は前回予想値(平成19年2月26日時点通期個別ベース△560百万円)から15,680百万円増加し、△16,240百万円となる見込みでございます。なお、本件による連結業績予想への影響はありません。

本資料で記述されている業績予想及び着地見込みは、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクは不確実性が含まれております。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている着地見込みと大きく異なる可能性があることをご了承おき願います。

以上